

東京ホッケー協会第6回理事会議事録

日時：平成29年9月5日（月）18:30～21:00

場所：品川総合体育館会議室

出席者：（理事）和田明仁、一川邦彦、河原茂光、青木剛、菅野芳哉、鍋田茂子、
（監事）箸本明雄

10名中6名の理事の出席があり、本理事会は定足数を満たし、開催された。

【承認事項】

1. 2017年第5回THA理事会議事録承認
異議なく承認された。
2. 「日本リーグ」駒沢開催に伴う備品の購入について
「日本リーグ」開催に、テクニカルテーブル備品、ピッチ内備品、受付等備品の購入が必要である。総額は60万円を超えるものと見られ、単品での大物は「デジタルタイマー」のである。購入費は、今期予定される「日本リーグ」「チャレンジカップ」で主に償却する。「タイマー」は本体2台、接続ケーブル、手許操作盤も必要であるが、今回はひとまず本体1台のみの購入とする。
3. 「日本リーグ」及びその他駒沢開催イベントの実施計画について
先に報告事項として「体育の日」「ホッケーフェスタ」の企画について説明を受け、収支均衡をベースに実施することが承認された。
4. 委員の承認
申請のあった委員を承認した。

【報告事項】

1. 第72回国体関東ブロック大会結果について
関東ブロック大会の結果報告があった。なお関ブロ派遣費は傷害保険等を除き、都体協助成金ではほぼ賄える予定であったが、送迎バス代が大幅な赤字となった。宿泊先はTHA側では決められず、宿泊先によって待遇・金額面で大きな差が生じてしまう。
2. 9月度日本リーグ駒沢大会開催について
 - (1) 大会実行組織と準備状況
駒沢運動場での大会開催は回数・規模ともに従来の委員会組織の中では処理する事は難しい。そこで事務局の下に緊急避難として駒沢委員会を設置し、大会実行方法を検討してきた。その結果、各大会毎に大会実行委員会を設け、大会を開催して行く事とした。9月度実行委員会では委員長、総務、会場、競技担当の委員を置く事とした。
 - (2) 大会実行予算案について
収支バランスを考えると有料入場者数300人/日強が目標となる。とはいえ、初期投資としての備品購入費をどのように扱うかで収支は大きく変化する。備品購入費は前述のように今年度に今後開催される大きな大会で償却する事で考えたい。
 - (3) 運営上の課題他
日本リーグはHJLがスポーツ振興センターから獲得した助成金で運営されているところが大きい。駒沢施設利用料はTHA名義で支払っており、それが助成金で負担出来るかが問題である。前述のように駒沢にはホッケー競技大会開催に必要な備品がゴール以外、殆ど揃っていない。これ等備品購入に対しては助成金の対象とはならず、資金捻出に苦慮しているところである。

3. 駒沢公園運動場「体育の日」企画について

駒沢委員会企画担当から提出された企画書について説明があった。当日の収入としては、駒沢運動場から10万円が支給され、JHAに20万円の支援をお願いしている。エキジビションマッチをお願いしているグラクソの交通費(バス代)負担が収支に影響大である。イベントの景品等の支出を圧縮し、確実に収支均衡するように取進める。

4. 11月11日ホッケーフェスタ(社会人大会)の企画について

THA社会人部会を立ち上げたが、その中核メンバーであるメトロ東京代表に企画をお願いした。社会人チーム男女21チームに声掛けし、ミニゲーム大会、エキジビションゲームを予定している。参加費を徴収し、この大会も収支均衡を図るようにしたい。社会人リーグのメンバーの懇親と今後の社会人リーグの在り方を考えていただく場としたい。翌12日は社会人リーグの入替戦があり、社会人連盟の主催となる。

5. 五輪関連委員会の活動状況

体験教室等のスケジュールが報告された。

【協議事項】

1. ホッケー界の将来について

JHAより非公式に、東京五輪2020に向けて、またその先のホッケー界の将来に対してJHAとTHAの意見交換を行い、課題を共有化し、補完して課題克服をして行きたい、との提案があった。そこで、THA理事会メンバーで予めTHAから見たホッケー界の将来に対する課題を議論した。

次回開催予定：10月7日は「品川1000日前フェスタ」が予定されているので前倒しする。

上記決議を確認するため、本議事録が作成され、会長及び副会長が署名捺印した。

平成29年9月5日

東京ホッケー協会

会長

和田 明仁

和田明仁 

副会長

一川 邦彦

一川邦彦 